

## 宇都宮市スポーツ施設整備計画の概要

## 第1章 計画の策定にあたって

## 計画策定の目的

- 既存スポーツ施設の現状，課題などを的確に把握し，利用者ニーズに対応したスポーツ施設整備を計画的に進めて行くため，本計画を策定するもの

## 計画の位置づけ

- 「宇都宮市スポーツ振興基本計画」の重点施策・事業の1つである「スポーツ施設の整備・充実」を実現するための計画

## 計画期間

- 平成19年度～平成27年度までの9年間

## 市町合併について

- 旧上河内町・河内町のスポーツ施設のうち，計画期間内に整備が必要な施設については，速やかに，本計画に計上する。

## 第2章 本市のスポーツ施設の現状と課題

## 1 スポーツ施設の現状

- スポーツ施設の量
  - 主要なスポーツ施設の量は確保されている。  
(中核市35市の比較 体育館13位・野球場2位・プール3位)
- スポーツ施設の質
  - 昭和50年代に整備された施設が多いため，老朽化している。
  - 冷暖房設備，更衣室，トイレなどの利便機能が不足している。
- スポーツ施設の利用状況
  - 全体的には，やや増加傾向にある。
  - 種目別では，サッカー・テニスが増加し，プールが減少している。

## 2 施設に対するニーズ

- 身近な施設づくり
  - 市民は，身近な場所で年間を通した多様なスポーツに利用できる施設を望んでいる。
- 高齢社会に対応した施設づくり
  - 高齢者を中心にウォーキングやグラウンドゴルフの人气が高まっている。市民は，健康づくりや生きがいづくりのため，運動やスポーツを実施していると考えられ，こうした運動ができる施設を望んでいる。
- 利便設備の充実
  - 市民は，快適な環境でスポーツを実施できる施設を望んでいる。
- 競技スポーツに対応した施設
  - 競技団体は，大会を運営する上で，競技性の確保が図れるとともに，全国大会などレベルの高い大会を誘致できる施設を望んでいる。

## 3 本市のスポーツ施設の課題

- 老朽化への計画的対応
- 施設の質・機能の向上
- 身近なスポーツ施設の確保・充
- 民間や県との役割分担

## 第3章 スポーツ施設整備の基本方針

## 1 老朽化に対応した整備

- 老朽化が著しい施設から優先的に整備する。

## 2 施設の役割に対応した整備

- 全市民が利用する「全市対象施設」と地域の利用が中心の「地域対象施設」に分け，全市対象施設のうち，全国レベルの大会等が開催できる施設（拠点施設）を中心に機能向上を図る。
- スポーツの総合的拠点として，市体育館にスポーツに関する相談や学習，指導者養成，情報提供などを行うスポーツ振興機能が果たせる整備を検討する。

## 3 プロスポーツに対応した施設整備

- プロスポーツの試合会場や練習場となる施設については，競技場，照明設備などが，基準を満たすことができる整備に努める。

## 4 利便設備の整備

- スポーツを通じた交流・コミュニケーションを促進する機能を市民スポーツ施設に導入する。
- スポーツ施設のバリアフリー化を推進する。

## 5 民間や県との役割分担を図った施設整備

- 民間での事業化が困難である体育館や野球場，サッカー場などの大規模土地利用型の施設の整備・改修を中心に取り組む。
- 市民のための各種スポーツ大会や行事に供する施設を整備することを基本とするが，既存の施設のうち，全国規模の大会も開催可能な施設については，引き続き，その役割や機能が果たせる整備を行う。

## 第4章 主要なスポーツ施設の整備方向

## 整備の優先順位

本市スポーツ振興の総合的な拠点である市体育館の再整備に最優先に取り組む。  
市民レベルの野球の拠点であり，老朽化が著しい野球場を含む，宮原運動公園全体の再整備に優先的に取り組む。  
その他の施設については，老朽化の状況を考慮したうえで，施設の位置づけにも留意しながら，整備を進めていく。

## 主要な施設の整備の方向

**市体育館** 国内トップレベルの大会や一部プロスポーツの開催にも対応できる施設として，冷暖房設備の導入や観客席の増設を検討するなど，機能向上を図る。市全体のスポーツの総合的拠点としての機能の充実を図る。

**宮原運動公園** 野球場を中心に再整備を行うとともに，公園機能を充実する。

**プール** 陽南プール・水上公園プールを廃止する方向で検討する。ただし，廃止にあたっては，これからのプールのあり方について，あわせて検討する。

